

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：ネオクロスPC
会社：三ツ星ベルト株式会社
住所：兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
担当部門：建設資材事業部
電話番号：078-682-3379 ファックス番号 078-685-5681
整理番号：K-730

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

有害性： 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は少ない。
環境影響： 通常の状態では環境に及ぼす影響は少ない。
物理的及び化学的危険性： 可燃性物質であり、着火源があれば燃える。(消防法 指定可燃物)
特有の危険有害性： 燃焼、熔融などの高温で一酸化炭素等の有害ガスが発生する可能性がある。
GHS分類： 分類基準に該当しない。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名	化学式	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法 No.)	CAS No.
ポリエチレンテレフタレート	$-(CO-C_6H_4-COO-CH_2-CH_2-O)-_n$	86~88	7-1022	25038-59-9
エチレン-酢酸ビニル-アクリル酸エステル共重合体	$-(CH_2-CH_2)_n-(CH_2-CH)_m-(CH_2-CH)_n$ OCOCH ₃ COOR	12~14	既存	有り
酢酸ビニル	$CH_2=CHOCOCH_3$	1未満	(2)-728	108-05-4

4. 応急措置

吸入した場合：

綿埃などの粉塵や、高温で発生するガスを吸った時は直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。
粉塵の場合は清浄な水でよく洗う。
不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合：

直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

出来るだけ吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

特有の危険有害性：

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
不完全燃焼した場合、一酸化炭素やアセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。

特有の消火方法：

風上から、水や二酸化炭素により消火する。

消火を行う者の保護：

大規模な火災の場合は呼吸用保護具、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。

環境に対する注意事項:

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

回収、中和:

箒や掃除機などで全量回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは局所排気や全体換気を行う。

注意事項: 火気及び熱源より遠ざける。

安全取扱い注意事項:

高速で走行させるなどの作業の場合は皮膚の擦過傷の恐れがあるので、保護具を着用し、皮膚などに触れないように注意する。

保管

適切な保管条件: 火気及び熱源より遠ざける。

黴(かび)が発生することがあるので高温多湿の場所では保管しない。

雨風や直射日光を避ける。

強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 換気装置を設置する。特に粉塵が発生する場合には局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具: 粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。

手の保護具: 保護手袋を着用する。

目の保護具: 粉塵が多い場合は保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学物質

物理的状態: 固体、糸状、白色

臭い: かすかな刺激臭

pH: 該当しない

融点・凝固点: データなし

引火点: データなし

比重(相対密度): 1.3~1.4

溶解性: 通常の有機溶媒には溶解しないが、熱したニトロベンゼン、フェノール、メタクレゾール、オルソクロロフェノール、トリフルオロ酢酸、濃硫酸などには溶解する。水に不溶。

自然発火温度: データなし

分解温度: データなし

燃焼性: 可燃性、着火源があれば燃える。

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温、単独では安定で、反応性はない。
危険有害反応可能性:	高温では一部熱分解する。着火元があれば燃える。
避けるべき条件:	高熱、炎。
混触危険物質:	強酸化剤など。
危険有害な分解生成物:	溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性等:	ポリエチレンテレフタレートに関しては、高分子であり消化器官で吸収されない。また、懸念される官能基も持たない為、有害性は低いと考えられる。その他、成分に関しては、樹脂化(固体化)された状態でのデータはない。
--------	--

12. 環境影響情報

生態毒性:	ポリエチレンテレフタレートに関しては、高分子であり消化器官で吸収されない。また、懸念される官能基も持たない為、有害性は低いと考えられる。その他、成分に関しては、樹脂化(固体化)された状態でのデータはない。
環境に対する有毒性:	ポリエチレンテレフタレートに関しては、生分解性はなく安定であり、土壤中の移動性は極めて低いと考えられる。その他、成分に関しては、樹脂化(固体化)された状態でのデータはない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄物処理法の産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託する。
汚染容器・包装	残余廃棄物と同じ。

14. 輸送上の注意

国連分類:	国連勧告の定義上の危険物には該当しない。
国内規制:	輸送に関する法規制には該当しない。
特別の安全対策:	重量物のため、転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。破袋の恐れがあるので水漏れや乱暴な取扱いをしない。

15. 適用法令

消防法:	指定可燃物
廃棄物処理法:	産業廃棄物、廃プラスチック類
労働安全衛生法:	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9) 酢酸ビニル(政令番号 第180号)

○本文中の記載内容は、当社の最善の知見に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

○すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。
御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださる様御願い申し上げます。